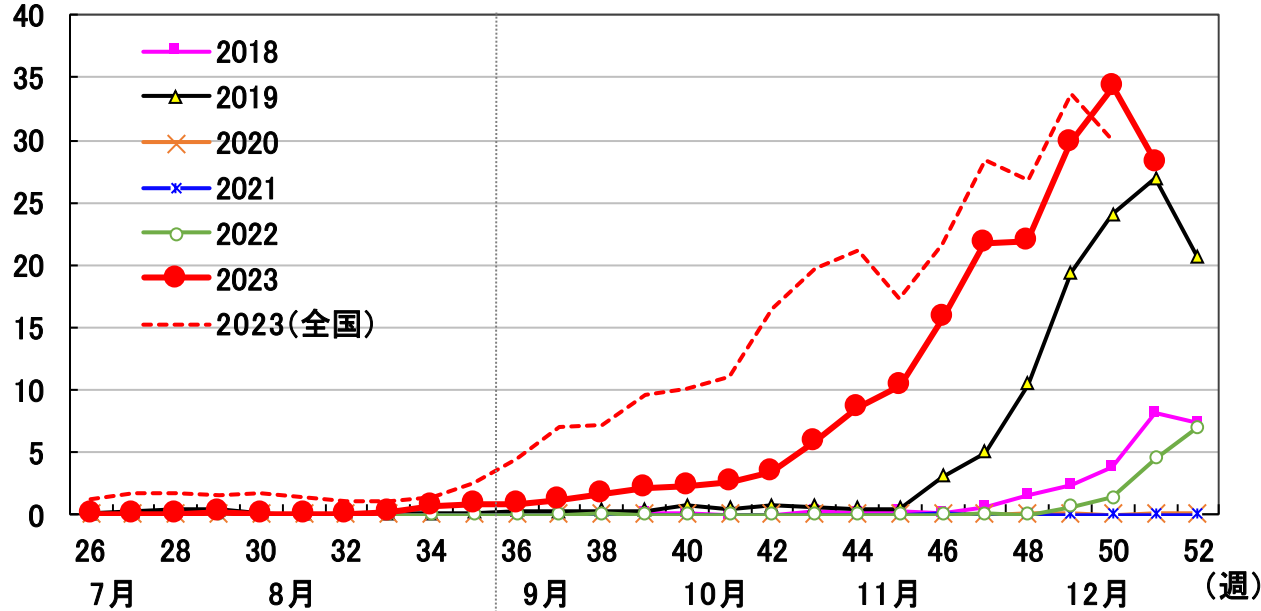


# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第51週(2023/12/18~12/24) 感染症発生動向調査速報値 (2023/12/27時点)】

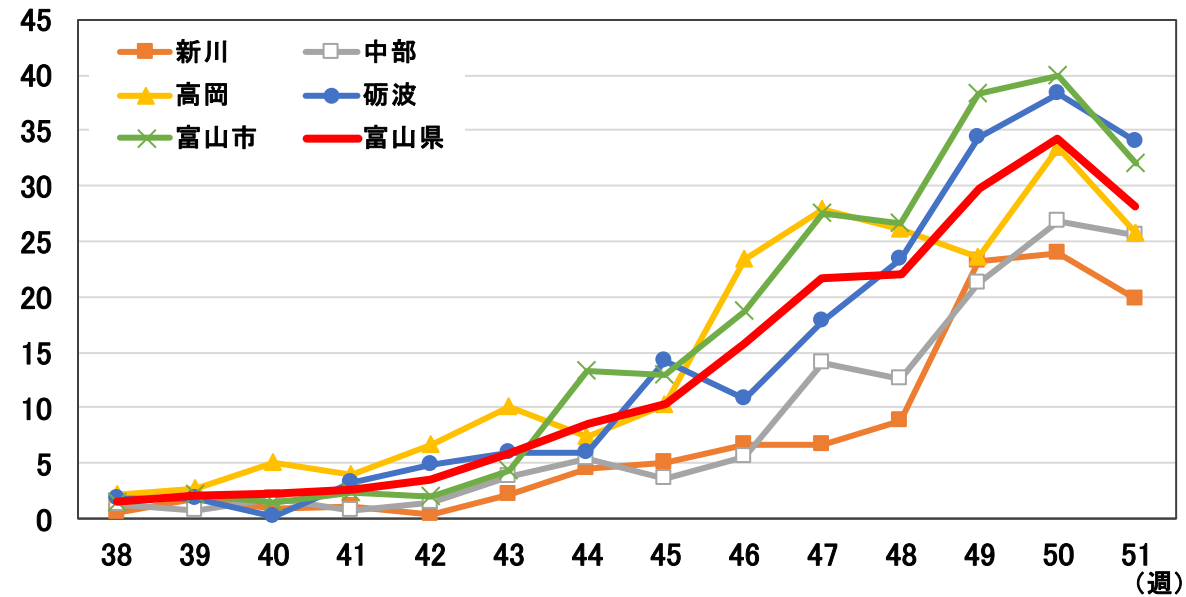
(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点)

図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第51週）**28.13**人/定点となり、先週（34.27人/定点）からやや減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、すべての管内でやや減少した。しかし引き続き、富山市、砺波管内では警報レベルの目安である30人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第51週)

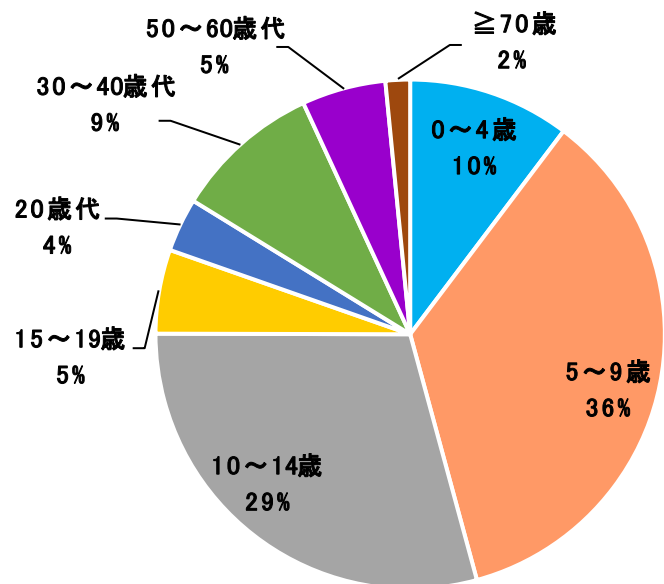
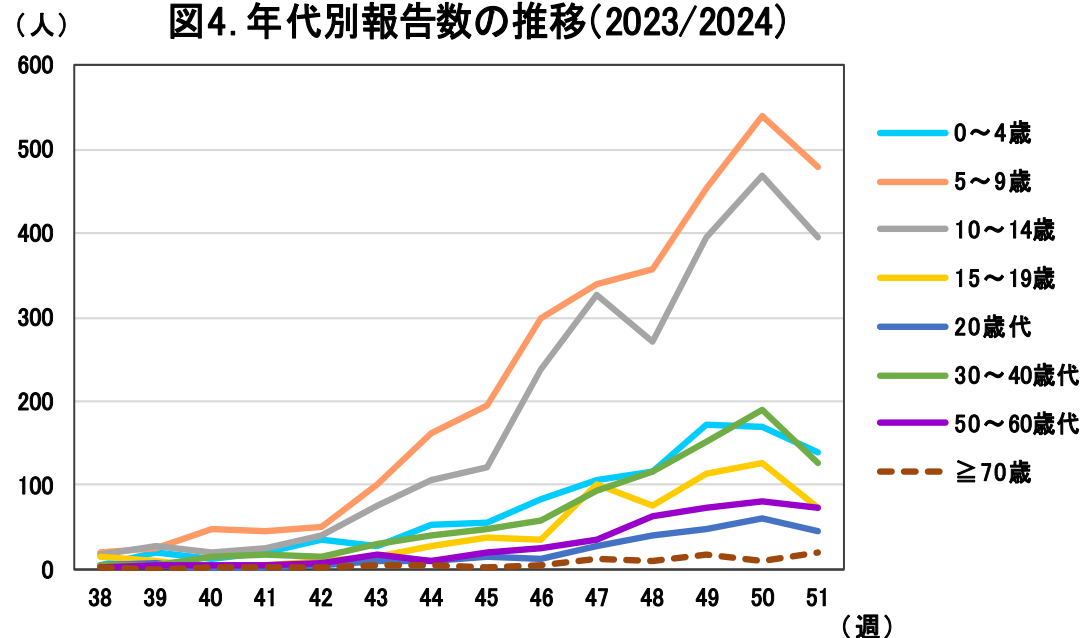


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第51週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が75%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代で減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第51週に34件（幼稚園1件、小学校24件、中学校8件、その他1件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第50週)

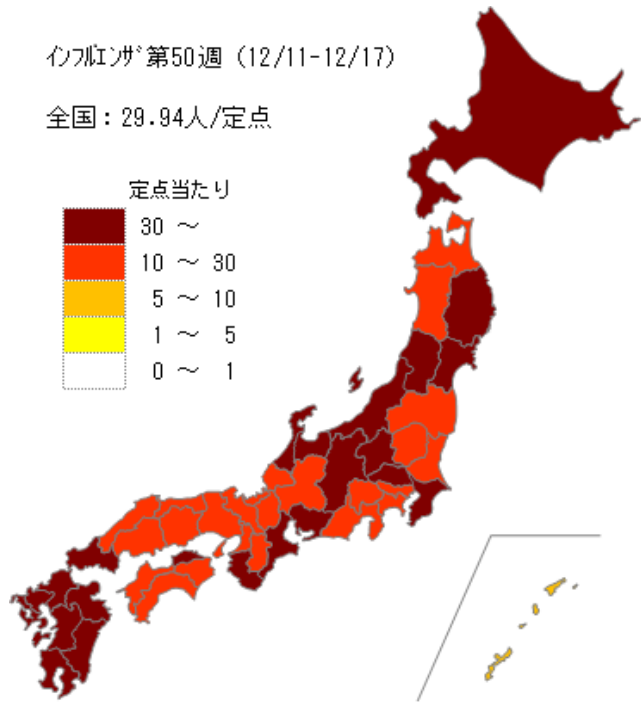
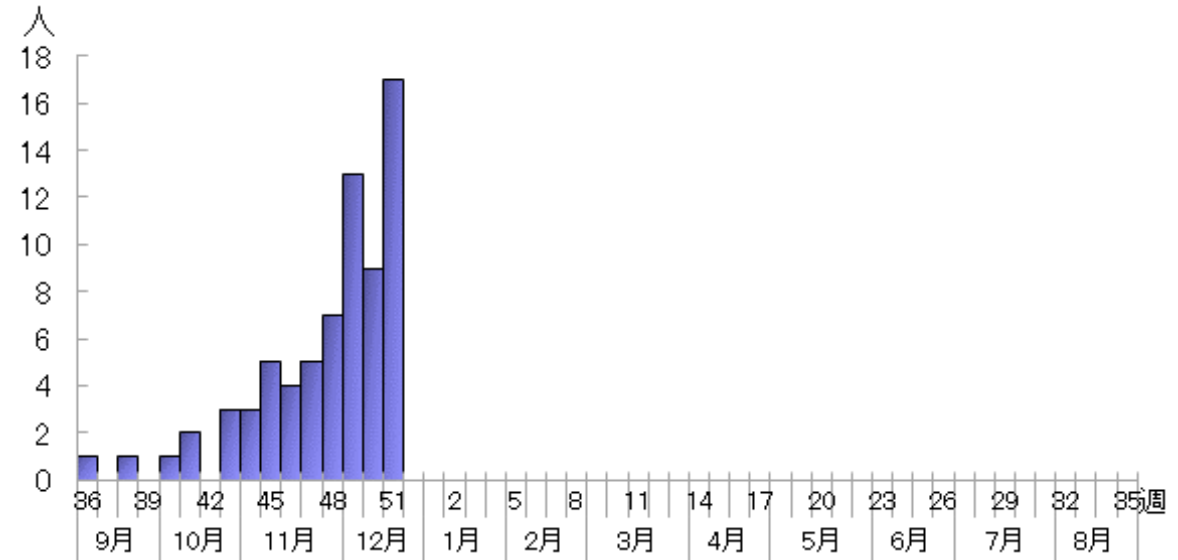


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第51週)



- 全国では第50週に29.94人/定点となり、第49週（33.72）からやや減少した。都道府県別（図5）では、沖縄県を除く46都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内23道県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第51週に17例の報告（5歳未満：1例、20歳代：1例、30～40歳代：2例、60歳代：3例、70歳代：5例、80歳以上：5例）があった。
- 患者報告数は先週からやや減少したものの、依然報告数の多い状況である。引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。